専門分野

地域・在宅看護論

シラバス

科目名	地域・在宅 看護総論Ⅰ	単位	1	時間数	１５	開講時期	１年次前期	担当者	教員
学習のねらい	地域で生活する人々とその人々を取り巻く社会システムについて理解し、看護に期待される役割や機能を学ぶ。 地域・在宅看護総論Ⅰでは、地域・在宅看護の概念と活動の概要を理解し、地域包括ケアシステムにおける保健予防活動の実際を学ぶ。								
目的・目標	目的；様々な健康レベルと発達段階にある対象の、個人・家族そして集団としての視点を学ぶ。 また、地域・在宅看護における看護の場と連携・調整の必要性を理解する。 目標；　1. 地域看護学の発展過程を理解し、地域看護学の概要を理解できる。 2. ヘルスプロモーションと健康における予防の考え方を理解できる。 3. 地域社会で生活する存在として看護の対象を理解できる。 4. 個人の健康に影響する地域の自然要因、社会的要因について説明できる。 5. 地域・在宅におけるヘルスケアシステムと社会資源を理解できる。 6. 保健・医療・福祉チームの連携と、看護職の役割を理解できる。								
授業計画	１回（45 分×2）地域看護とは ２回 45 分×2）公衆衛生の歴史、地域看護の歴史と定義 ・　時代背景（疾病構造の変化、人口構造の変化） ・　健康指標 ３回（45 分×2）地域の概要と環境（社会・自然）の理解 ・　健康の概念、健康と環境との関係 ・　健康の定義と変遷 ４回（45 分×2）地域・在宅看護活動を促す理念 ・　プライマリーヘルスケア・ヘルスプロモーション ・　地域・在宅看護活動の概要（地域保健・医療・福祉の法律） ５回（45 分×2）地域・在宅看護を取り巻く保健・医療・福祉の施策 ・　チーム医療における看護師の役割・活動 ６回（45 分×2）地域・在宅看護活動の方法と実際 ・　概念・展開方法 ・　グループワーク ７回（45 分×2）地域・在宅看護の展望 ・　発表　まとめ 筆記試験（45 分）								
評価方法	筆記試験（70%）、課題レポート（30%）で評価する。								
教科書	地域・在宅看護論（医学書院）								
参考文献	国民衛生の動向　最新版　厚生統計協会								
履修要件									

シラバス

科目名	地域・在宅 看護総論Ⅱ	単位	1	時間数	３０	開講時期	２年次前期	担当者	看護師 教員
学習のねらい	地域で生活する人々とその人々を取り巻く社会システムについて理解し、看護に期待される役割や機能を学ぶ。 地域・在宅看護総論Ⅱでは、在宅看護のあゆみと法制度の変遷を踏まえたうえで、地域・在宅看護の役割と実際を学ぶ。								
目的・目標	目的；地域で療養する人々とその家族の QOL に着目した看護の展開をする上で必要な知識を学ぶ。 目標；1.在宅看護の変遷を踏まえて、在宅看護の目的とその概観が理解できる。 2.在宅看護を取り巻く現状社会の状況および施策が理解できる 3.在宅看護の提供される場とその広がりを理解できる 4.在宅看護における家族とその支援について理解できる。 5.在宅療養者の人権と権利、期待される看護と倫理について理解できる。								
授業計画	1.2 回（45 分×4）在宅看護の目的と特徴 A)在宅看護の目指すもの　B)在宅看護における看護師の役割 3.4 回（45 分×4）在宅看護の対象者 A)対象者の特徴　B)住まい方と健康　C)家族 5-7 回（45 分×6）在宅療養の支援 A)在宅看護の提供方法　B)療養の場の移行　C)在宅看護の基本となるもの 8-9 回（45 分×6）在宅看護に関わる法令・制度とその活用 A)訪問看護制度の創設と発展経緯　B)地域・在宅看護にかかわる法令・制度　C)介護保険制度 D)訪問看護の制度　E)訪問看護サービスの提供　F)ケアマネジメントと社会資源の活用 G)地域における多職種連携 10-15 回（45 分×10）在宅看護の展開 A)在宅看護過程展開のポイント　B)在宅看護過程の展開方法　C)療養上のリスクマネジメント D)在宅看護における権利保障 筆記試験（45 分）								
評価方法	筆記試験（100%）で評価する。								
教科書	地域・在宅看護論（医学書院）								
参考文献	ナーシング・グラフィカ地域療養を支えるケア、在宅看護論（南江堂）								
履修要件									

シラバス

科目名	地域・在宅 看護援助論Ⅰ	単位	2	時間数	３０	開講時期	2年次前期	担当者	教員
学習のねらい	地域で療養しながら生活する人々及び障害を持ちながら生活する人々とその家族を理解し、地域在宅看護実践について学ぶ。 地域・在宅看護援助論Ⅰでは、在宅療養する多様な発達段階にある人々への生活支援及び療養支援について学ぶ。								
目的・目標	目的；　地域・在宅看護に重要な健康課題について学び、在宅看護活動に必要な知識・技術・態度を理解する。 目標；　1.在宅療養者とその家族の健康と生活について理解し、地域・在宅看護の方法を学ぶ。 2.保健・医療・福祉活動の中での看護師の役割を理解し、連携とチームケアの重要性を学ぶ。								
授業計画	１回（45分×2）地域・在宅看護援助の基本・コミュニケーション・住宅 ２回（45分×2）食生活・排泄・清潔 ３回（45分×2）移動と活動、睡眠、受診と服薬、リハビリテーション ４回（45分×2）腹膜透析、ストーマケア ５回（45分×2）疼痛管理、褥瘡ケア ６回（45分×2）経管栄養、在宅中心静脈栄養 ７回（45分×2）在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法 ８回（45分×2）脳血管疾患患者の在宅看護 ９回（45分×2）難病患者の在宅看護 10回（45分×2）認知症患者の在宅看護 11回（45分×2）精神障害者の在宅看護 12回（45分×2）小児の在宅看護 13回（45分×2）感染症患者の在宅看護 14回（45分×2）まとめ 15回（45分×2）試験								
評価方法	筆記試験（70%）、課題レポート（30%）、を総合して評価する。								
教科書	地域・在宅看護論（医学書院）								
参考文献	ナーシング・グラフィカ地域療養を支えるケア、在宅看護論（南江堂）								
履修要件									

シラバス

科目名	地域・在宅 看護援助論Ⅱ	単位	1	時間数	３０	開講時期	2年次後期	担当者	医師　教員
学習のねらい	地域で療養しながら生活する人々及び障害を持ちながら生活する人々とその家族を理解し、地域在宅看護実践について学ぶ。 地域・在宅看護援助論Ⅱでは、在宅療養をする人々への多様なアプローチの方法、多職種連携及び看護職の役割について学ぶ。								
目的・目標	目的；　地域で療養する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での医療や看護を学ぶ。 目標；　1. 地域における医療や看護の様々な場とその実際について学ぶ。 2. 多職種と協働する中での看護師の役割を学ぶ。 3. 終末期における在宅看護について学ぶ。								
授業計画	１回（45 分×2）地域・在宅看護過程の展開方法 ・フィジカルアセスメントの視点 ・アセスメント、目標の設定、計画、実施、評価 ・地域・在宅における看護と多職種連携 ２回（45 分×2）対象者の介入時期別特徴　事例紹介 ３回（45 分×2）療養の場の移行 ４−５回（45 分×4）対象者の介入時期別看護 ・症状メカニズムとそのマネジメント ・ターミナル期にある人とその家族への援助 ６−７回（45 分×4）訪問診療 ・ターミナルケア・緩和ケアの考え方 ・ターミナル期にある人の療養の場 ・死をめぐる倫理的課題 ・ターミナルケアにおけるチーム医療 ・地域・在宅におけるエンドオブライフケア ８回（45 分×2）試験								
評価方法	筆記試験（100%）で評価する。								
教科書	地域・在宅看護論（医学書院）								
参考文献	緩和・ターミナルケア看護論								
履修要件									

シラバス

科目名	地域・在宅 看護論演習	単位	1	時間数	１５	開講時期	2年次後期	担当者	教員
学習のねらい	地域で療養する対象者への看護の展開プロセスを学び、事例展開を通して在宅療養における看護を学ぶ。また、在宅看護に必要な知識・技術・態度の統合を目指す。								
目的・目標	目的；　療養者とその家族への日常生活援助や医療技術、看護上の留意点及びその方法を考える。 また、訪問看護における礼儀やマナー、コミュニケーション技術を理解し修得する。 目標；　1. 地域・在宅看護におけるアセスメントの視点を理解できる 2. 地域・在宅看護におけるアセスメントの視点を持って事例に対する介入を考えることができる 3. 訪問時のマナー・態度について考えることができる 4. 地域・在宅療養を支える家族へ思いをはせることができる								
授業計画	1回（45分×2）地域・在宅看護におけるアセスメントの視点、事例提示 2回（45分×2）看護過程の展開；アセスメント① 3回（45分×2）看護過程の展開；アセスメント② 4回（45分×2）看護過程の展開；関連図 5回（45分×2）看護過程の展開；計画立案 6回（45分×2）看護過程の展開；訪問計画立案（グループワーク） 7回（45分×2）訪問看護の実施（発表） 8回（45分×2）評価・まとめ								
評価方法	授業への参加状況（10%）、課題レポート（90%）を総合して評価する。								
教科書	地域・在宅看護論（医学書院）								
参考文献	ナーシング・グラフィカ地域療養を支えるケア、在宅看護論（南江堂）								
履修要件	地域・在宅看護総論、地域・在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ								